

2013年 4月19日

第5回 民主フォーラム議会報告会

長岡京市議会 民主フォーラム

1. はじめに
2. 長岡京市議会について
3. 平成25年第1回議会（3月）定例会報告  
議案・一般質問・予算審査総括質疑
4. 意見交換
5. その他

# 長岡京市議会の構成

## 市議会

### 本会議

- 常任委員会
  - 総務産業—歳入全般・農商工業・人事・財政などに  
関わる議案を所管（高見）
  - 建設水道—道路・建築・上下水道・中心市街地整備などに  
関わる議案を所管（大伴・堤）
  - 文教厚生—乳幼児老人福祉・障がい者福祉・教育などに  
関わる議案を所管（進藤・綿谷）
- 議会運営委員会—議会運営全般について協議（進藤）
- 特別委員会
  - まちづくり・公共交通対策—まちづくり並びに公共交通に  
関する諸問題の調査研究（進藤）
  - 公共施設対策—公共施設に関する諸問題の調査研究  
（大伴・堤）
  - 環境対策—環境行政についての調査研究（綿谷・高見）

※上記特別委員会は議会の議決により設置
- 予算審査特別委員会(2~3月)／決算審査特別委員会(8~9月)
- 幹事会—各会派の幹事により構成（進藤）
- 諸会議—議員全員協議会、常任・特別正副委員長会議、議会だより編集委員会

### 第1回議会(3月)定例会

No.	議事内容		付託委員会	説明	議決結果	
					会派	議決
1	諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	—	人権擁護委員の推薦について議会の意見を求める	○	○
2	報告第1号	専決処分の報告について 〔専決第4号 損害賠償の額の決定について〕		長岡京市多世代交流ふれあいセンターにおける事故による損害賠償の額を決定する専決処分	—	—
3	報告第2号	専決処分の報告について 〔専決第1号 損害賠償の額の決定について〕		開田城土塁からの落下事故による損害賠償の額を決定する専決処分	—	—
4	報告第3号	専決処分の報告について 〔専決第3号 長岡京市立小中学校普通教室等空気調和環境提供等事業契約の変更(第2回)について〕		長岡京市立小中学校普通教室等空気調和環境提供等事業の契約金額を変更する専決処分	—	—
5	報告第4号	専決処分の報告について 〔専決第5号 恵解山古墳保存整備工事その2請負契約の変更について〕		恵解山古墳保存整備工事その2請負契約の請負金額を変更する専決処分	—	—
6	第1号議案	長岡京市固定資産評価審査委員会委員の選任について		固定資産評価審査委員会委員の選任について議会の同意を求める	○	○
7	第2号議案	長岡京市固定資産評価審査委員会委員の選任について		固定資産評価審査委員会委員の選任について議会の同意を求める	○	○
8	第8号議案	長岡京市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について		地方自治法の改正に伴う名称等の変更と、交付方法の変更を行うための一部改正	○	○
9	議会条例第1号	長岡京市議会基本条例の一部改正について		地方自治法が改正されたことに伴う条例の一部改正	○	○
10	意見書案第1号	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書(案)		ブラッドパッチ療法の治療基準を速やかに定め平成26年度に保険適用とすることなどを国に求める意見書	○	○
11	第14号議案	平成24年度長岡京市一般会計補正予算(第5号)	総務産業 建設水道 文教厚生 各常任委員会	規定の歳入歳出予算にそれぞれ1,718,067千円を増額し、総額を26,219,195千円とする ＜歳入＞ 個人市民税所得割増 187,000千円／固定資産税・都市計画税家屋減 △80,000千円／国庫補助金増 641,712千円／普通財産売払収入減 △64,889千円／市債増 996,800千円 など ＜歳出＞ 国民健康保険事業特別会計繰出金増 16,791千円／子どものための手当等支給事業減 △33,086千円／交通安全施設整備事業増 63,420千円／阪急新駅周辺整備事業増 523,115千円／下水道特別会計繰出金増 53,629千円／小中学校施設耐震化事業増 1,002,146千円 など	○	○
12	第9号議案	長岡京市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	総務産業 常任委員会	国家公務員退職手当法の改正に準じた変更を行うための一部改正	○	○
13	第10号議案	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について		地方自治法の改正に伴う行政財産の貸付方法を容認する規定の追加を受けて、行政財産の貸付けを無償又は減額する規定を追加する一部改正	○	○
14	第11号議案	長岡京市行政財産使用料条例の一部改正について		行政財産使用料の徴収に関する公平性確保と使用料算定基準の見直しにより行政財産使用料の適正化を図るための一部改正	○	○
15	第12号議案	長岡京市企業立地促進条例の一部改正について		長岡京市への企業立地の促進を図るための一部改正	○	○
16	第16号議案	平成24年度長岡京市開田財産区特別会計補正予算(第1号)		歳出の予備費から一般会計繰出金を充当する補正予算	○	○

## 第1回議会(3月)定例会

No.	議事内容		付託委員会	説明	議決結果	
					会派	議決
17	第4号議案	大山崎町道路線の認定の承諾について	建設水道 常任委員会	長岡京市域の一部を大山崎町道路線に認定されることについての承諾を求める議案	○	○
18	第5号議案	市道の路線の変更について		既存道路を第二外環状道路工事で建設される新規認定市道等に接続するため、路線の変更を必要とするための議案	○	○
19	第13号議案	長岡京市道路占有料条例の一部改正について		道路法施行令の改正に伴い、条例別記に記載された占有物件の一部について、該当する道路法施行令の条文が変更されたための一部改正	○	○
20	第17号議案	平成24年度長岡京市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)		下水道(汚水)の築造事業減などにより、規定の歳入歳出予算からそれぞれ102,518千円を減額し、総額を3,117,696千円とする	○	○
21	報告第5号	専決処分承認を求めることについて [専決第2号 損害賠償の額の決定について]	文教厚生 常任委員会	市が使用する施設における事故による損害賠償の額を決定する専決処分の承認を求める	○	○
22	第3号議案	乙訓福祉施設事務組合規約の変更について		地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、規約を変更することについて協議したため議会の議決を求める		
23	第6号議案	長岡京市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について		新型インフルエンザ等対策特別措置法の公布に伴う条例の制定	○	○
24	第7号議案	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		障害者自立支援法の改正に基づく同法の名称変更及び障害者自立支援法施行令の改正に基づく同令の名称変更に伴い、条例を整理する条例の制定	○	○
25	第15号議案	平成24年度長岡京市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		一般会計繰入金増で財源振り替えして予備費増により、規定の歳入歳出予算にそれぞれ16,791千円を増額し、総額を8,727,257千円とする	○	○
26	第18号議案	平成24年度長岡京市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		保健給付費増により、規定の歳入歳出予算にそれぞれ105,552千円を増額し、総額を5,170,325千円とする	○	○
27	第19号議案	平成24年度長岡京市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)		後期高齢者医療負担金事業増により、規定の歳入歳出予算にそれぞれ19,712千円を増額し、総額を982,209千円とする	○	○
28	第36号議案	長岡京市国民健康保険条例の一部改正について		国民健康保険事業の適正な運営を図るための一部改正	○	○
29	第20号議案	平成25年度長岡京市一般会計予算		歳入歳出予算の総額は、それぞれ24,205,900千円と定める(詳細は別紙参照)	○	○
30	第21号議案	平成25年度長岡京市国民健康保険事業特別会計予算		歳入歳出予算の総額は、それぞれ8,397,472千円と定める	○	○
31	第22号議案	平成25年度長岡京市乙訓休日応急診療所特別会計予算	歳入歳出予算の総額は、それぞれ58,475千円と定める	○	○	
32	第23号議案	平成25年度長岡京市馬場財産区特別会計予算	歳入歳出予算の総額は、それぞれ5,889千円と定める	○	○	
33	第24号議案	平成25年度長岡京市神足財産区特別会計予算	歳入歳出予算の総額は、それぞれ31,937千円と定める	○	○	
34	第25号議案	平成25年度長岡京市勝竜寺財産区特別会計予算	歳入歳出予算の総額は、それぞれ4,783千円と定める	○	○	
35	第26号議案	平成25年度長岡京市調子財産区特別会計予算	歳入歳出予算の総額は、それぞれ86,384千円と定める	○	○	
36	第27号議案	平成25年度長岡京市友岡財産区特別会計予算	歳入歳出予算の総額は、それぞれ23,674千円と定める	○	○	
37	第28号議案	平成25年度長岡京市開田財産区特別会計予算	歳入歳出予算の総額は、それぞれ436,438千円と定める	○	○	
38	第29号議案	平成25年度長岡京市下海印寺財産区特別会計予算	歳入歳出予算の総額は、それぞれ14,221千円と定める	○	○	
39	第30号議案	平成25年度長岡京市粟生財産区特別会計予算	歳入歳出予算の総額は、それぞれ1,294千円と定める	○	○	

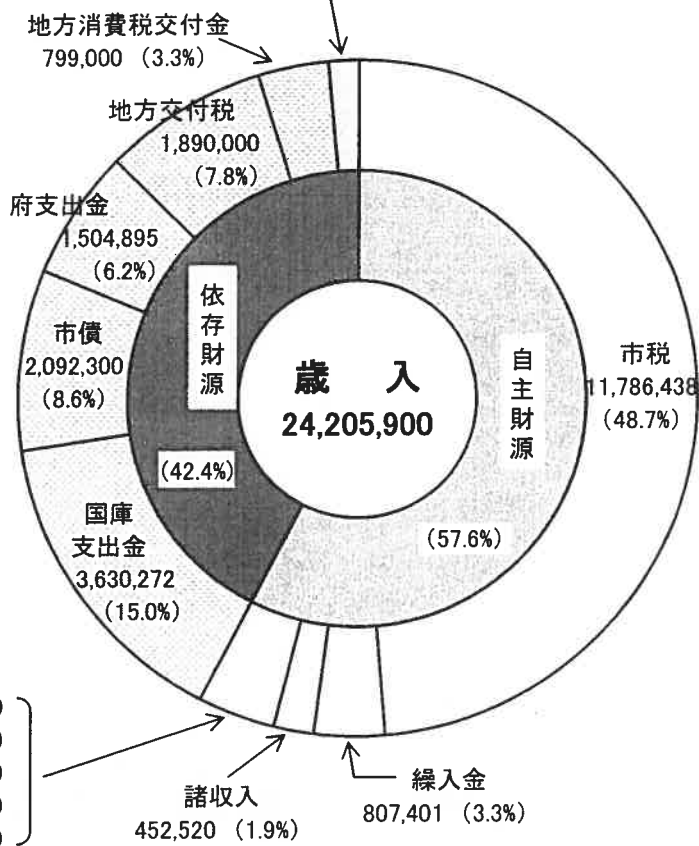
### 第1回議会(3月)定例会

No.	議事内容		付託委員会	説明	議決結果	
					会派	議決
40	第31号議案	平成25年度長岡京市公共下水道事業特別会計予算	予算審査 特別委員会	歳入歳出予算の総額は、それぞれ3,016,756千円と定める	○	○
41	第32号議案	平成25年度長岡京市介護保険事業特別会計予算		歳入歳出予算の総額は、それぞれ5,138,737千円と定める	○	○
42	第33号議案	平成25年度長岡京市駐車場事業特別会計予算		歳入歳出予算の総額は、それぞれ51,876千円と定める	○	○
43	第34号議案	平成25年度長岡京市後期高齢者医療事業特別会計予算		歳入歳出予算の総額は、それぞれ978,831千円と定める	○	○
44	第35号議案	平成25年度長岡京市水道事業会計予算		収益的収入及び支出の予定額は、それぞれ2,264,931千円、2,301,746千円と定め、資本的収入及び支出の予定額は、それぞれ396,001千円、807,560千円と定めるが、資本的支出額に対し不足する額411,559千円は、過年度分損益勘定留保資金と消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんする	○	○

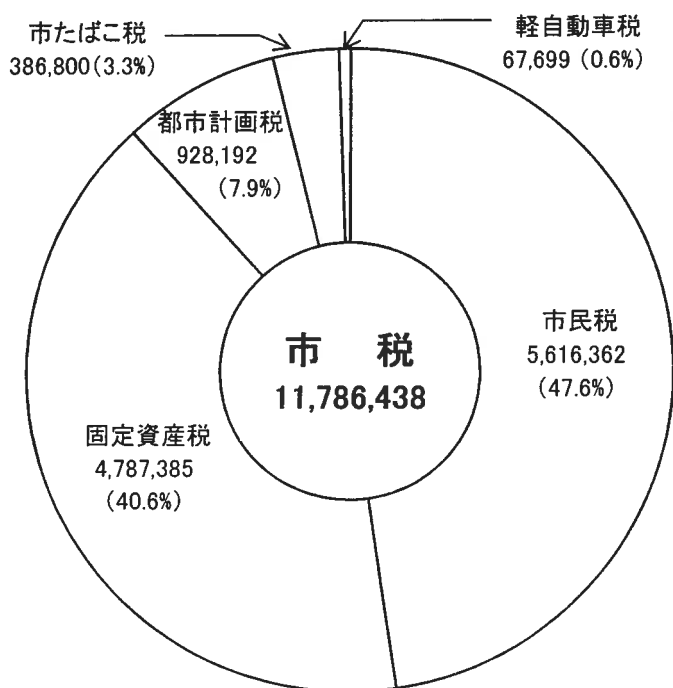
# 平成25年度一般会計予算

(単位:千円)

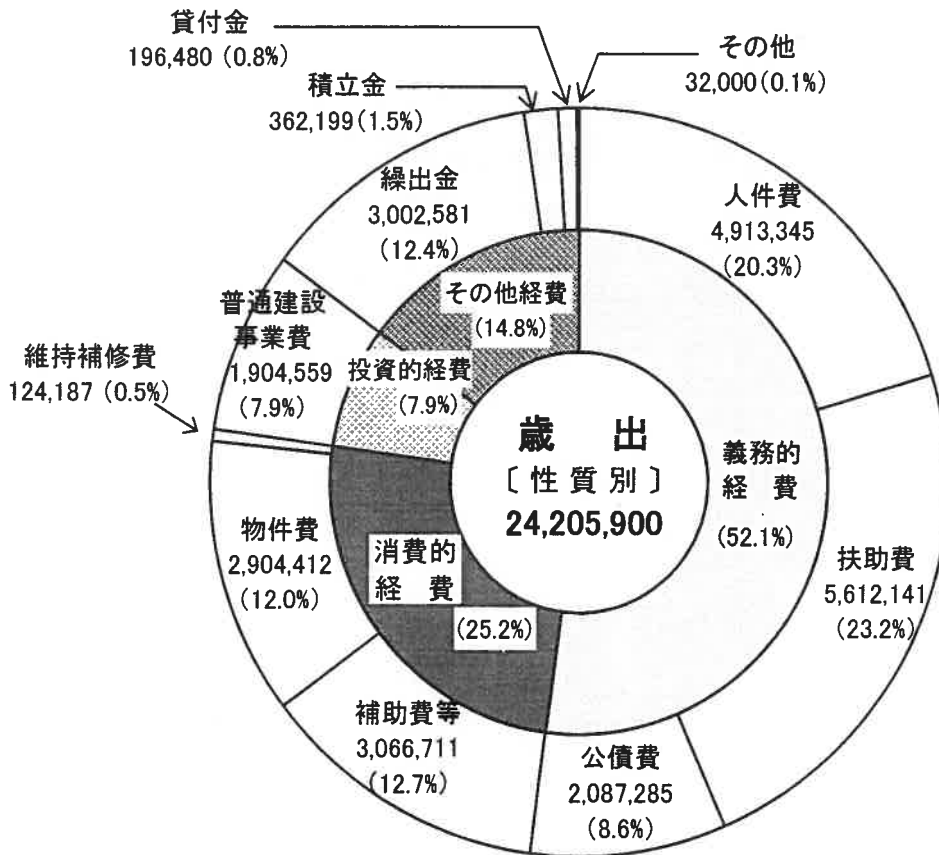
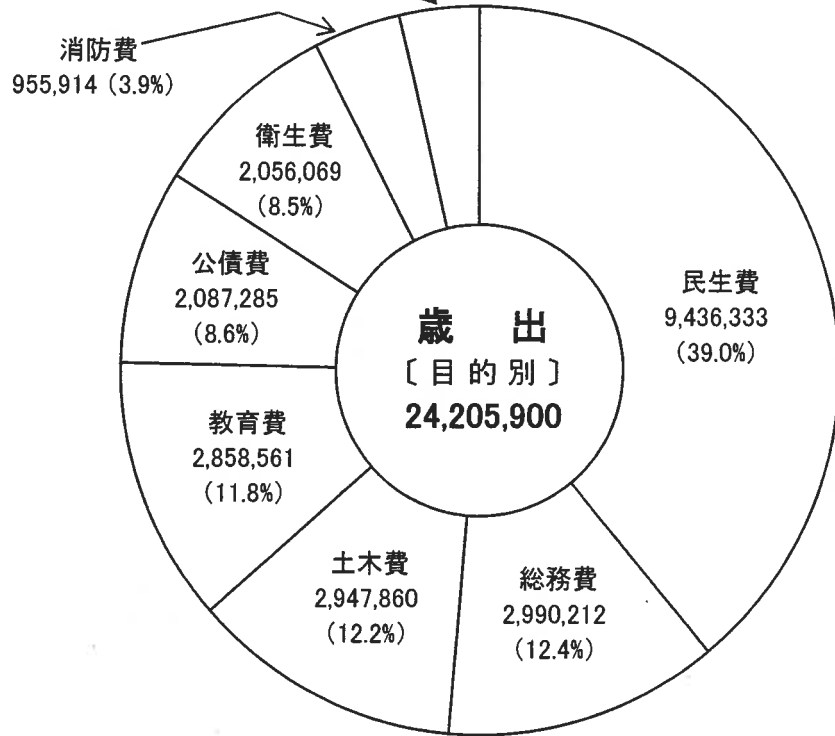
地方譲与税	131,901	(0.5%)
地方特例交付金	61,000	(0.3%)
自動車取得税交付金	52,000	(0.2%)
利子割交付金	48,000	(0.2%)
配当割交付金	39,000	(0.2%)
交通安全対策特別交付金	13,000	(0.1%)
株式等譲渡所得割交付金	6,000	(0.0%)



分担金及び負担金	430,163	(1.8%)
使用料及び手数料	342,994	(1.4%)
財産収入	49,213	(0.2%)
繰越金	50,000	(0.2%)
寄附金	19,803	(0.1%)



議会費	332,749	(1.4%)
労働費	205,967	(0.8%)
商工費	191,035	(0.8%)
農林水産業費	111,915	(0.5%)
予備費	32,000	(0.1%)



## 平成25年度一般会計予算の特色

### 『やさしく、たくましい、親切的な予算』

～新たな時代を拓く 安心の豊かなまちづくり～

#### ● 予算総額 242億6百万円 (対前年度比 3.5億円 1.5%)

・市税収入 117億8,643万円 (対前年度 1億7,333万円増・1.5%増)

・譲与税、交付金収入 11億4,990万円 (対前年度 3,190万円増・2.9%増)

・地方交付税 18億9,000万円 (6,000万円増・3.3%増)

☆投資的経費 19億456万円 (2億2,498万円増・13.4%増)

※別途、国の予備費、補正の活用にて H25 予定の阪急新駅周辺事業、小中学校耐震化事業など 16億6千万円相当の前倒し有、実質対前年度 112.4%増となる。

#### ☆住みつけたい みどりと歴史のまち 長岡京

足元の課題を見つめ、子どもたちの未来へとつなげるまちづくりのために

……【政策項目別重点事業一覧 別添】

#### ◆「交流・活力・にぎわい」の創出

【まちの活性化 8億8,742万円】

まちの活性化に向けた新たな拠点づくりである阪急新駅周辺整備事業もいよいよ佳境に入る。その事業費に7億856万円を計上し、また引き続き、第二外環状道路周辺整備として緑地空間の整備や西代公園の実施設計費など1億1,713万円を計上した。長岡京駅前線第2工区の最終整備費用574万円、第3工区での用地取得のための債務負担行為の設定や地域公共交通計画の検討経費、阪急長岡天神駅周辺整備計画検討経費合わせて938万円を計上した。また、まちのにぎわいづくりに向け、大河ドラマ(細川ガラシャ)誘致活動経費も継続計上し、積極的な展開を図る。

#### ◆環境、市民が誇る「水」・「みどり」の保全

【環境の保全、景観を活かしたまちづくり 11億3,571万円】

エネルギー対策等環境意識向上の啓発を念頭に、新たに電気自動車の急速充電設備導入経費222万円を計上し電気自動車の普及啓発に努めるとともに、住宅用太陽光発電システムの設置助成経費を増額計上した。また、LED化の促進に向け、市内防犯灯のLED化にも引き続き取り組む。

さらに、豊かな西山の森林資源の保全整備費用に1,339万円、整備推進協議会への補助金450万円を計上、小学生を対象とした西山環境教育、景観学習も継続実施する。水質汚濁等環境負荷の低減、水質保全に資する下水道事業会計への支援経費10億4,200万円も計上した。



#### 【農林業の振興 991 万円】

緑の保全にも大きく寄与する農業を守るため、有害鳥獣駆除対策に新たに赤外線センサーカメラを導入し効果的な対策を講じる費用等 197 万円、病虫害の駆除経費 138 万円、土地改良事業経費 433 万円を計上した。

### ◆安心、いきいき「健康・福祉」の推進

#### 【健康の増進 1 億 4,999 万円】

子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種事業に 7,096 万円を計上するとともに、既存のがん検診に加え、新たに、乳がんの個別検診、胃がんリスク検診を実施する費用合わせて 354 万円を計上した。また、新たに小学校での口と歯の健康指導事業も展開することとした。

#### 【福祉の増進 34 億 930 万円】

安心した暮らしを下支えする社会保障費である生活保護費、障がい福祉サービス費を合わせて 25 億 8,558 万円を計上するとともに、後期高齢者医療制度への負担金 5 億 3,658 万円を計上した。これらの経費は前年度と比較して約 3 億円の増となっている。また、国民健康保険料の負担軽減策としての国保会計への繰出金 4,000 万円も計上した。

また、前年度から取り組みを進めている医療機関等との連携による認知症対策支援事業経費を拡充し 1,958 万円（H24：600 万円）を計上、新たに介護予防拠点施設の整備に 2,098 万円、老人福祉センターのあり方検討やバリアフリーマップの作成など高齢化社会への対応を進める。引き続き、専任職員による「福祉なんでも相談」窓口を開設するとともに新たに“いのちを守る地域体制づくり推進事業”を立ち上げ、自殺対策や要支援者への対応を図り、また育成医療助成制度の創設、障がい者虐待一時保護事業も開始する。

#### 【子育て支援等 22 億 6,115 万円】

前年度拡充した子育て支援医療事業経費 1 億 4,708 万円に加え、新たに支援が必要な家庭のために育児・家事等養育の支援事業、子育ての短期支援事業を開始する経費 99 万円を計上した。また、民間保育園への保育委託経費 5 億 4,611 万円に加え、病児・病後児保育、保育所への看護師配置などに必要な経費 1,901 万円、待機児童解消に向けて民間保育園や認可外保育園への運営助成、乳児保育委託助成経費合わせて 1 億 898 万円を計上している。延長保育の実施保育所を 1 か所追加し、そのために必要な経費 344 万円も盛り込んだ。公費による妊婦健診 14 回分も継続実施する。

#### 【就労支援 3,852万円】

視覚障がい者の就労機会の創出事業に加え、新たに授産製品の販売機会の創出を支援する。また、引き続き緊急雇用対策事業を展開する。

#### 【学校教育の推進 2億1,399万円】

未来を担う子どもたちのためにICT活用による教育の質の向上と学力の向上を目指すために更新した教育用システム運用経費に1億751万円を計上した。また、小中学校の読書活動の充実のため1,299万円、外国語教育の推進経費1,629万円のほか、学校教育支援員配置経費を400万円増額し1,430万円計上、学校教育の充実に努める。

#### ◆「安心・安全」のまちづくりの推進 【7億4,177万円】

市民参画のもとでの地域防災計画見直し議論等の中からの取り組みの1つとして、既存の避難誘導看板等をユニバーサルデザイン仕様へ更新、計画的整備に着手する。その経費202万円を計上し、また、計画的に進めている災害時用のマンホールトイレの整備費用3,663万円を計上した。加えて、計画停電等非常時用の要支援者への支援用ガス発電機、災害時用のガス発電機の整備費用も計上した。

小中学校の耐震化事業経費としては24年度補正へ前倒しをした事業費約10億円とは別に25年度分としても3億8,501万円を計上し、計画の早期達成を目指す。また、雨水対策として、友岡川流域浸水対策貯留施設整備費7,000万円、西条川河川改良事業に517万円、今里地区他浸水対策基本調査費350万円も計上した。

#### ◆「地域力」の向上・「文化力」の創出 【3億3,918万円】

ふれあいの居場所づくりのための“コミュニティカフェ”立ち上げへの支援を継続、その費用58万円を計上し、市民活動支援のための補助制度、地域コミュニティ協議会への支援経費や互助、共助の軸となる自治会活動への支援にも所要の経費、合わせて2,254万円を計上した。

スポーツセンター、西山体育館の施設整備のための設計費等を新たに計上するとともに、4カ年の継続事業で取り組んでいる貴重な遺跡である恵解山古墳保存整備に2億2,916万円を計上、26年度の完成を目指す。新たに、古典の日のイベントの企画費や『古今伝授之間』の原型となる本市に存在した『開田御茶屋』の復元図作成経費204万円を計上した。また、ポスト国文祭として立ち上げた“音楽のまちづくり事業”に128万円、文化・スポーツの高揚、地域力の向上に力を注ぐ。

## ○効率的かつ効果的な行政運営

### ※市民サービスの向上

- ・ 阪急新駅西山天王山駅にキオスク端末設置 450 万円
- ・ 議会本会議のインターネット中継実施 170 万円
- ・ 電子入札の完全実施
- ・ 民間賃貸住宅家賃補助制度の継続（市営住宅供給代替策・360 万円）

### ※市民協働、官学連携の推進

### ※事務事業の外部評価の実施

※人件費の抑制（一般会計一般職対前年度 8,600 万円の減・※退職手当除く）

※市債発行額の抑制（対前年度 3,260 万円の減）

### ※経常経費の縮減

（すべての事業費の精査により物件費の新規等増加抑制額約 8,000 万円の縮減）

※財政調整基金の留保（対前年度とりくずし額 5,000 万円の減）

## 2013年3月議会 一般質問の項目（高見良一）

### ◎『児童虐待』を防止するための取り組み

- 2006年10月の死亡事件をうけた虐待防止の取り組みについて
- 最新の虐待通報件数、認定件数。こども福祉課で対応したケース数は何件か
- 虐待防止のための組織体制はどうなっているか。特に家庭児童相談員の人数、業務内容などの概要について
- 25年度予算案の「育児・家庭等養育の支援事業」の狙いは何か
- 京都府が25年度に取り組む、虐待した保護者へ教育、カウンセリングと連携した取り組みは可能かどうか

### ◎意見公募(パブリックコメント)が行われている『長岡京市地域防災計画(案)』

- 福島第一原発事故から2年。改めて原子力災害の危険性への認識、本市の危機管理のあり方について
- 庁内に新設された『原子力災害』の作業部会について。特に高浜、大飯原発で事故が起こった場合を想定した、市民の屋内退避勧告、安定ヨウ素剤の扱い、宮津市からの避難者受け入れ態勢などについて
- 災害時のエリアメール、ツイッターを活用した市民への情報提供のあり方について
- 非常用電源の設置状況と停電時の業務継続対策について

### ◎『フェイスブック、ライン』などのSNSを活用した広報、宣伝について

- 本市のフェイスブック(Facebook)ページ作成と有用性について
- スマートフォン向けアプリ、ライン(LINE)の活用について

## 2013年3月議会 予算総括質疑の項目（高見良一）

### ◎25年度に完成予定の「第二外環状道路」と阪急「西山天王山駅」を活かした街づくりのビジョン

- ・第二外環状道路(通称「にそと」)、阪急新駅を長岡京市発展の資源にするための取り組みとは何か？
- ・「にそと」の「ストロー効果」対策は？
- ・「にそと」開通によって近くなる京都府北部地域と相乗効果を図るためにNHK大河ドラマ誘致活動と連動した企画

### ◎自然、森林資源と共生する街づくり、西山の森林整備について

- ・土砂災害対策、水源涵養、鳥獣対策のために重要性をます森林整備のあり方
- ・長岡京市産木材と竹チップの利用促進
- ・サントリー天然水の森プロジェクト

### ◎長岡京市の地域防災計画の見直しについて

- ・25年度以降の地域防災計画の見直し
- ・災害時の庁舎停電対策について
- ・災害時の情報発信を強化する体制

以上



□ 要旨 □

1. 複式簿記による公会計について
2. 観光戦略プランについて

### 1. 複式簿記による公会計について

- ・ 現状の認識と変化
- ・ 職員の資格取得に対する積極的支援
- ・ 財政の見える化
- ・ 市民との財政状況についての意識共有

#### ●質問の背景（堤じゅん太／会派としてのスタンス）

昨年、総選挙の折に維新の会の石原現衆議院議員や橋下大阪市長が「先進国で複式簿記の会計制度を取り入れていないのは日本だけで」と発言し、政策課題の一つとして大きく取り上げられました。

現行の公会計制度は、単純に現金の支出の結果だけを示す、単式簿記と現金主義による記帳を行っています。単式簿記は資産形成と費用の区分や借入金と収益の区分がないために債務のふくらみや将来的な負担が事前に把握しにくいという欠点があります。一方、複式簿記は単式簿記に比べてより正確な資産状況が把握できる長所があります。

私は平成22年の6月議会の一般質問で複式簿記による会計制度について質問し、本市としても複式簿記化の重要性をより強く認識すべきと求めました。これに対して、その重要性の認識は共有するものの、法に基づく要請ではないため、また、内部管理的な部分に予算を費やすよりも政策的な部分で市民に直接還元できる取り組みに重きを置きたいとの旨の答弁をいただきました。

今回、総選挙を経て公会計の複式簿記化という政策が大きく取り上げられましたので、この政策について認識の変化、及び複式簿記に理解のある職員の育成について質問しました。

#### ●答弁概要

##### <市長答弁>

- ・ 現行の公会計では資産・債務に係る情報が不足していると認識している。
- ・ 石原議員らの発言の真意は分からないが、東京・大阪と本市の規模の違いも背景にある
- ・ 総務省の改訂モデルに基づく財務諸表を作成して、現行の会計制度を補完していく。

##### <企画部長答弁>

- ・ 平成20年度から財務諸表を作成しているが、未だ段階的な整備の途上。資産情報や公有資産台帳からのデータ精緻化を図っている。よって財務諸表の経年比較できる状態ではない。
- ・ 市民と財務状況を学ぶ場の設定する提案は、現時点で職員の財務諸表に関する習熟が優先。

##### <総務部長答弁>

- ・ 民間の企業経営に学ぶところは多いので、複式簿記の研修も職員研修に加える

## ●答弁を受けて

複式簿記化について改めて国会で議論が再開されたので、改革の流れを期待して結論を待ちたいと考えています。現状の会計制度の下でも複式簿記的な考えを持って、資本と収支のバランス感覚のある人財を育成することは、持続可能な本市の行財政運営の上で非常に有用であると考えます。

## 2. 観光戦略プランについて

- ・「観光戦略係」立ち上げの意義と特色
- ・何を売りにして、どのように展開するか
- ・観光客数と観光消費額
- ・総合的なまちづくりへの反映

## ●質問の背景（堤じゅん太／会派としてのスタンス）

商工観光課の「観光係」が「観光戦略係」へと名称変更なされました。名称変更は政策の力点が端的に表れます。今回の名称変更は、大河ドラマ「細川ガラシャ」誘致や、「にそと」「阪急新駅」「高速バス停留所」完成後の人の流れが大きく変わる長岡京市において観光振興に向けた積極的な姿勢であると私は解釈しております。

しかし本市は、歴史的資産があるにも関わらず、観光入れ込み客数に伸び悩み、観光消費額も低い水準で留まっている現状があります。

そこで、観光振興政策に関してどのような「戦略」を描いているのかについて質問しました。

## ●答弁概要

### <市長答弁>

- ・にそとや新駅が完成して人やモノの流れが変わる。その変化をまちの活性化に大きく繋げる観光施策を積極的に推進することが「観光戦略係」立ち上げの狙い。
- ・何を売りにしてどう展開するのかは、今後の検討
- ・観光を総合産業として振興することは地域の原動力。総合計画に観光の視点を組み入れる

### <観光経済部長答弁>

- ・長岡京市観光戦略プラン推進本部会議で戦略化策を議論している
- ・着地型観光が脚光を浴びている。本市独自の観光プランを提供していき戦略の柱とする
- ・地域資源の再点検を図り、旅行業者・出版社とのタイアップ販売拠点の整備を検討する
- ・情報発信が重要となるので、パンフレットや観光案内板等のリニューアルを行う
- ・市民・事業所・商店街等の諸団体と連携して「おもてなし」の仕組み作りを行う
- ・観光入れ込み客数は3年後に127万人を目指す。
- ・観光消費額は調査手法等の問題から現時点で具体的な目標数値を上げることはできない

## ●答弁を受けて

観光振興はまちづくりの一つの切り口であると考えます。観光業により商業を活性化したり、観光施設の整備を通しまちの建設を行ったり、あるいは観光資源のPRでまちの誇りを醸成したり、一つの事務事業を通してその広がりは多岐に渡ります。観光振興を行うことで本市の市民の皆様が潤うような、今後の戦略的な取り組みに期待しています。

<一般質問要旨>

担当：綿谷



I. 平成 25 年度予算について

背景：昨今厳しい財政状況が続く中、平成 25 年度一般会計予算は前年度比 1.5%増の 242 億 590 万円の編成がなされた。

本予算の主旨、目指すところについて問う

質問 1：本市、本予算の目指すところは？

回答（市長）：本市において基幹収入である市税について法人市民税の増収は見込めず、個人市民税は税制改正によるわずかな増収を見込んだのが実態。この状況下、目指すところは第 1 に市民生活の安定である。子育て支援、高齢者対応に加え災害への備え等“きめ細かな支援”に細心の注意を払った。そしてニソト、西山天王山駅等、新たなまちのにぎわい、活性化につながる事業にも配分した。「創造と共生で住みつけたい長岡京」を目指すものである。

質問 2：歳入の新規財源確保、税外収入の確保については？

回答（市長）：経常収支比率が 90%台を推移しており、硬直化した状況であると認識している。本市において財源確保策として、①市民新聞への広告掲載、②ホームページのバナー広告、③各種講座や検診等参加者からの実費徴収など、新たな財源確保、税外収入について今後も検討していく。一方、ネーミングライツなどもあるが、長引く景気低迷を背景に経常的な安定収入として望める状況ではないと認識している。

II. 環境政策について

質問 1：環境基本計画の実施計画が平成 23 年、24 年の 2 カ年で計画実施されているがその状況について問う？

回答（環境経済 B）：94 の実施プロジェクトについて取り組み中。①環境にやさしいまちづくり、②自然とのかかわり、③コミュニティーを基盤とする循環型社会の形成、④地域ネットワークづくりにおいてそれぞれ取り組んでいる。

質問 2：第二期環境基本計画の概要は？

回答（環境経済 B）：現行の環境基本計画の持続可能なまちづくりの基本理念を継承しながら、①エネルギーを大切にすまちづくり、②資源循環型社会の形成、③自然環境の保全、④快適な都市環境づくり、⑤協働・環境学習・エコアクションの推進、の 5 つの基本施策について取り組む。

質問3：東日本大震災後、新たに加わった施策があれば？

回答（環境経済B）：エネルギーを大切にすまちなみづくりとして省エネの実践や再生可能エネルギーを使う市民が増える取り組みを積極的に展開していきたい。

質問4：今後10年を考え、本市の重点施策は？

回答（環境経済B）：先進的な市民活動モデルとして①環境学習プログラムと連動させた省エネ設備の普及を目指す「エコタウン・エコライフのシフトアップ」、②資源利用を前提とした里山の維持管理を目指す「西山の魅力アップ」、③地域参加型環境学習プログラムの構築を目指す「環境づくりの市民力アップ」に取り組んでいく。

質問5：西山天王山駅、またその周辺での環境対策の最新情報を？

回答（建設交通B）：LED照明の導入、エレベーター降下時の発電力を蓄電し、上昇時に再利用できる回生電力蓄電システムの採用、低速待機運転型エスカレーター、ヒートポンプ式電気給湯器、雨水利用、超節水型トイレなど、環境に配慮した施設導入は計画通りである。また緑化推進については駅構内やホーム、駅周辺の橋脚等へ壁面緑化を取り入れる予定。先行して開業した摂津市駅の事例を参考にしながら取り組んでいる。また、第二外環状道路の料金所屋根やその付近には太陽光パネルを設置する。

### Ⅲ、住民にやさしいまちづくりについて（ユニバーサルデザイン）

質問1：ユニバーサルデザイン(UD)の公共施設の既存施設への対応について

回答（企画B）：基本方針として可能な限り全ての人にとって利用しやすい施設となるよう改造や改築の機会を捉え対応している。小中学校では耐震化工事にあわせトイレの洋式化、大規模工事の長法寺小や第七小にはエレベーターを設置した。バンビオでは各階に多目的トイレ、市営住宅では高齢者対応浴槽、手すりの設置、トイレの洋式化を順次実施。JR長岡京の観光案内板には点字、音声ガイダンスを導入している。

質問2：新規施設へのUDの導入、計画について

回答（企画B）：校舎増築予定の長岡第五小学校や一部建替え予定の神足小学校では、車イスの方やどなたでも利用できるよう段差レス、エレベーターや多目的トイレを導入予定である。

質問3：標識への導入について

回答（企画B）：平成25年度から避難所の表示板や誘導するための看板を順次更新する予定であり、この標識には4カ国語表記や一目でわかるデザインを導入する予定。





# 長岡京市議会議員 大伴まさのり 市議会レポート

2013.2 ~ 2013.3

## 大伴雅章の議会活動



### 3月定例議会

2/22 ~ 3/25

3月の定例議会では18日の予算委員会総括質疑において会派を代表し、市民の安全を守るという視点で、防災・減災対策に絞り市長と1対1で質問いたしました。

### 戦略的な視点

Q & A



TOMO

**大伴質問** 現時点でこの対策の市のパイプである地域防災計画には、その理念が5項目書いてあります。このことが、戦略としては基本なんですね。

●市長答弁 .....  
そのとおりで、1.安心して暮らせる地域づくり 2.ハード・ソフト両面の整備 3.平時から「構え」の大切さ 4.災害時はまずは自助そして共助へ 5.各機関との協力の5項目が戦略的視点です。



TOMO

**大伴質問** この5項目について、25年度予算で具体的に特に市長が力を入れた代表的なものをあげてください。

●市長答弁 .....  
地震・水害対策に特に力を入れ、学校など公共施設の耐震化・水害に対する備え等ハード面と自助・共助そして公助として、マンホールトイレの全小中学校に整備や、ガス発電機の備え付けなど、細かな点に配慮して予算化しました。



TOMO

**大伴質問** 少し横道にそれますがと前置きして、予算委員会分科会で、私のマンホールトイレに関して、多くの被災市からも視察に来られるが、ここで逆に学んだことは？ と質問

した時、担当課長が、実際に浦安市さんは整備していたのに使えなかった反省を教えていただき、以降設計変更や設置箇所の工夫等を実施していると答えられたことを紹介し、評価と共にこのことの大切さを訴えました。

●市長答弁 .....  
おっしゃる通りです。

### 戦術的な視点

Q & A



TOMO

**大伴質問** このことに関しては、多くの項目がありますので私が気になる2点に絞り質問いたします。まずは地域コミュニティ醸成の中でという視点で、どのような施策展開を？

●市長答弁 .....  
自治会を中心に自主防災会の整備・援助等を積極的に行います。



TOMO

**大伴質問** 自主防災会以外にも、現在社会福祉協議会で事業展開されている「ふれあいのまちづくり事業」もその趣旨からスタートさせたもので、それぞれ担当セクションが異なるが、その連携は？

●市長答弁 .....  
連携をとって実施している。



TOMO

**大伴質問** ぜひ、そうあっていただきたい。次に要配慮者名簿の中で支援者なしと書かれておられる方の課題について糺し、調査したり、係わっておられるのは民生委員の方で、総合管理は危機管理であり、齟齬は生じないか？

●市長答弁 .....  
連携してやっている。



TOMO

**大伴質問** そうであれば安心だが、目的は震災時のためにとということであるが、実際の市民生活では、共助社会の実現は、災害がおこらなくても、大切なものであり、結果、災害時に役に立つという視点で、施策実施を要望いたします。

★大伴解説 .....  
ともすれば、表に災害対策となれば、一般施策を実施しているセクションは、やらされてる感があるもので、極論でいえば市のあらゆる施策は、そのことを勧めることが、結果、災害時に役に立つという視点で、実施していただきたいという願いが私の主題であり、そのことが平時からの「構え」だと思うからなんです。

## 平成25年第1回議会（3月）定例会 総括質疑



### □ 要旨 □

1. 平成25年度予算について
2. 京都式地域包括ケアの推進について

### 1. 平成25年度予算について

#### ●質問の背景

平成25年度当初予算案は、対前年で3.5億円を超えることとなった。平成24年度補正で17億円の大型補正を行い、年度末であることを勘案すると実質対前年20億円増とも考えられる。

しかし市税収入は、ピークの平成19年度の129億円から12億円減少している。膨らんだ予算だが、市税収入の実態と合致していない点に注意する必要がある。バブル後の公共投資増大策で地方の借金が積みあがり、それにより多くの自治体で厳しい財政運営を強いられている事実を忘れてはならない。

また、20億円規模が増額された予算によって、職員の事務作業量は増加する。一方、長岡京市は職員数抑制による公務員人件費の削減に取り組んできた。この上に、国は更なる地方公務員給与の削減を求めている。質を落とさず市民サービスを提供するためにも何らかの工夫が必要であるとする。その観点からも、「民」でできることを「民」に任せる公民連携が重要となる。

#### ●質問と答弁の概要

質問：小田市長3期目マニフェストの進捗の観点からこの予算をどのような位置づけていますか？

答弁：88の約束をしましたが、進捗を整理したところ90%は何とか進んでいる状況です。

質問：今年度予算には投資的経費が積み上げられています。今後は国からの予算は活用しつつも、公債費増による財政負担を踏まえた予算でならないと考えますが、市長のご所見は？

答弁：持続可能な行財政には、当然財政の健全化が1番重要な視点です。その観点から国の財政4基準を一桁良好な数値で維持しています。今後も財政の健全化を維持する基本的な考え方のもとに、可能な範囲内で市民サービスの提供に努めていきたいと考えています。

質問：社会保障関係費等の義務的経費は今後ますます増大することは確実に予測されます。これに加えて公債の利払い増加は政策的経費を圧迫することに繋がりますが、その対策は？

答弁：国は予算が92兆に対して借り入れは約10倍の1000兆弱に対して、本市は予算が250億円に対して起債も250億円です。国と地方はまた違いますが、しっかりと対応しています。

質問：実質的に対前年20億円増の予算となり、職員の事務量も増加すると思われます。効率的に予算を執行するためには何らかの工夫が必要となりますが、どのような対策をお考えでしょうか。

答弁：増加分の事業は国庫補助事業で、国費に係る事務手続きが国の省庁に対し必要となります。これに対し財務省主計局より繰越事務手続きの簡素化の通知がなされております。総務大臣からも地方自治体に負担軽減の通知がなされています。本市もこの趣旨を関係部署に周知しました。

質問：本市は独自に人件費の抑制に努めてきました。しかし国は地方公務員給与の削減を求めています。一方で仕事の量は増加する可能性があります。労働に対する正当な報酬はモチベーションの維持に重要です。職員の負担軽減のためにも常々会派として求めてきた、地域の団体にある程度

の予算を渡して「地域のことを地域で決められる仕組み」が必要だと考えますが、ご所見は？

答弁：これまで予算の関係で行うことができなかつた市民参画はその通りで、市民との協働によるまちづくりは非常に重要であると考えています。市民参画を促すために基本構想を練って、実施計画を作る作業を暗中模索しながら行っています。今後も情報開示をしながら市民・職員一緒になって取り組みを進めたいと考えております。

#### ●答弁を受けて

持続可能な行財政運営のために本市の職員は可能な限りの努力を行っている。健全な行政運営に向けて、その努力を活かすかどうかは責任者の舵取りにかかっている。今後も自立した長岡京市のために政策提案を行いたい。また予算規模の関係で今まで行うことができなかつた事業を手掛ける予算と、非常に前向きな予算編成であるので、今後の適切な執行に期待する。

## 2. 京都市地域包括ケアの推進について

#### ●質問の背景

京都府では超高齢化社会に向けて、介護や療養が必要になっても住み慣れた自宅や地域で暮らすことができるよう高齢者の生活を地域で支えることができるよう、各機関が連携して医療・介護・福祉のサービスをワンストップで提供する福祉安心型社会実現を目指した「京都包括ケアシステム」推進を図っている。これに関して、長岡京市は認知症に関する部門をモデル地区として行うべく引き受けた。本年度その拠点となる施設の整備も新たになされ

#### ●質問と答弁の概要

質問：京都市地域包括ケアシステムの実現には行政・医療・介護・福祉の連携が不可欠とされていますが、これを推進するために当たり本市の現状と課題をどのように分析していますか？

答弁：団塊の世代 75 歳以上の対象の方が 2025 年に向けてこれから増加し、それに伴う高齢者ケアのニーズが増大します。また、一人暮らしの方が増加します。認知症については特に女性の方が増えると予測されるのでこれに対応してまいりたいと考えています。これが大きな課題です。

質問：国の政策においても 2005 年に、認知症を知り地域をつくる 10 か年構想が打ち出され、2014 年には地域で認知症を理解し、支援する体制を構築し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりが謳われています。本市としてはどのようにこの課題を具現化していきますか？

答弁：認知症の地域の推進支援員を配置し、一次予防のために認知症カフェを実施します。また、職員さん対象に認知症アセスメント研修を実施し、170 人の方々に参加してもらいました。

質問：医療と介護・福祉の事務的な担当部署が分かれているため、事務手続きが煩雑であったり、病気をした場合と療養する場合とで病院を移らないといけないなど、認知症を支える家族の方等には大変な負担があります。本市のワンストップサービスの提供について所見を伺います。

答弁：地域包括支援センターが重要な役割を担うと考えます。そのため今年度、体制を 2 班から 3 班体制に拡充しました。在宅看護支援センターや、地域で支えるシステムとしては民生児童委員さん等地域で連携を図るシステムの構築は今後必要だと理解しています。

#### ●答弁を受けて

認知症の問題は高齢世代だけの問題だけでない。支える若い世代も問題の当事者となる。体力的・精神的・経済的に負担が大きく、家族・家庭だけでは支えきれない。だからこそ行政の支援が重要となる。家族を支えるために現役世代が退職せざるを得ない状態などないよう施策を充実させたい。